

地域社会で生きる！

－ 新たな人のありよう・つながりを願って －

平成23・24年度の2カ年にわたり、特別支援学校生徒を中心において、行政、学校、NPO、企業及び地域社会が一体となった初めての協働事業＝「地域社会で生きる！特別支援学校生徒の社会参加および就労支援」に取り組みました。

生徒たちとの出会いとふれあいをそれぞれの場＝社会参加・職場実習において繰り返す中で「できた！」「できる！」という『気づき』がありました。



生徒たちは、自分の存在が受け入れられた場で、イキイキと活動し、「やりとげた！」「人に喜んでもらった！」という実感をもつことができました。

そこでの成功体験が自信となり、生徒たちのさらなる成長の糧となっています。

「(できないと思っていた)生徒たちも、なかなかやるんだ」ということに、生徒たちとかかわってきた人たちは気づきました。まじめにコツコツと一生懸命に取り組む生徒たちの姿に感銘し、仕事の基本や人のありようを生徒たちから教えられました。

「できる・できない」という既成概念を超えた人のありよう・つながりが問いかけられています。生徒たちと、彼らに関わった人たちが共に生きる関係のなかで、新たな世界を創出しようとしています。

2カ年の協働事業が終了する今、私たちは、新たなスタートラインに立ちます。

協働事業を展開してきた16団体の確かなパートナーシップを基に、特別支援学校生徒をはじめ障害のある人たちが、誇りと自信をもって地域で豊かに生きていけるよう、社会参加および就労支援をさらに推進します。

社会的『きづな』を深め、豊かな地域社会づくりの実現のために。

平成25年3月25日

【協議体構成メンバー(16団体)】(順不同)

奈良県、奈良県教育委員会、NPO法人ならチャレンジド、大淀町、大淀町教育委員会
株式会社南都銀行、JAならけん、奈良交通株式会社、株式会社ソルノリーブス
立積住備工業株式会社、三輪明神大神神社、春日大社、法相宗大本山・薬師寺
奈良県立高等養護学校PTA、奈良県立奈良東養護学校PTA、NPO法人きららの木